

また一つ応援したい学校が増えました

「七人の孫」というテレビドラマが、昭和の時代にありました。森繁久彌さんがおじいちゃん役で、七人の孫とのやりとりが人気でした。

出演者には、森繁さんの他に、加藤治子、いしだあゆみ、島かおり、松山英太郎それに樹木希林(当時、悠木千帆)さんなど、錚々たるメンバーでした。最初が一九六四年やから、もう覚えてる人の方が少ないかもしれませんなあ。

それに、少子高齢化と言われて久しいこの頃、七人の孫と聞いても、ピンとこないかもしれません。そやけど、僕には森繁さんより、一人多い八人の孫がおります。

上は大学生から下は小学生までです。正直言いますと、自分の子どもが小さかった頃は、忙しい働いて、子どもの面倒は嫁さんに頼んでました。

そやけど、ジイちゃんともなると、多少、精神的にも、仕事にも余裕ができて、孫に接することができるようになりました。

子どもたちの中には「俺らの頃は、そんなに心配してくれなかった」と、言うのもありますけど、仕方ないやないですか。ねえ。その孫の二番目の子は野球一筋です。今は関西国際大学で野球部に入ってます。

関西国際大学というのは、一九九八年に設置された新しい大学

です。

学長は濱名篤さんという教育学者です。実は、この方とは仕事で、ご一緒したことがあったんですな。

お会いしたのは、二〇一六年の夏、関西国際大学主催の公開シンポジウム「働くこと」のために大学は何ができるか」というイベントでした。

これは関西国際大学が主催して実践女子大学などが共催、東京・渋谷の実践女子大のキャンパスで行なわれ、NHKでも放送されたものです。

いやあ。最近、自分でも教育、教育、とそればかり、言ってるように思いますけど、六年前に、もうこんなテーマのシンポジウムに出てたんですなあ。忘れてたわ。

余計なこと言わんでなと釘刺されてジイちゃんは大学まで出かけました

大学に入ったんは娘の長男です。

「お父さん、余計なこと言わんといてな」と孫の母親、つまり娘に釘刺されて、ジイちゃんは、関西国際大学まで出かけました。

そして、硬式野球部の鈴木英之監督にお会いしました。この



●(株)アオキ取締役会長

青木 豊彦 (あおき・とよひこ)



大阪府生まれ。1997年(株)アオキは航空機メーカーのボーイング社の認定工場に。また東大阪の技術力を生かし人工衛星「まいど1号」を開発、2009年に打ち上げ成功。その後無人垂直飛行機「AKITU」も開発に成功した。2014年4月、国立和歌山大学客員教授に就任。2016年には大阪府立大学学長特別顧問に就任。2020年、国立滋賀医科大学学外有識者会議委員に就任。(一財)ものづくり医療コンソーシアムの理事も。

人は、PL学園の出身で、あの清原、桑田の一年先輩やったそうです。

現在、野球部員は一七〇名、孫はキャッチャーやけど、キャッチャーだけでも一〇名おるとのことでした。

鈴木監督によれば、キャッチャーはチームの要である。ウチの孫は身体が強い。肩も強い。辛抱するタイプだから、キャッチャーに向いてる、ということでした。

断つときますけど、僕、別に何も監督にお愛想言うてませんよ。娘にきつう言われてますから。ジイチャンはジイチャン、孫は孫、というのがウチの子どもたちのポリシーやから、余計なこと言くと怒られてしまうからね。

さて、監督ばかりやなく、せっかくおじゃましたので、学長の濱名篤さん、副学長で経営学部教授の山下泰生さん、経営学部長で教授の上村和美さんともお話ししました。

この大学の学生は三〇〇〇人です。いわゆる関西の有名私立、関関同立、それに近畿大は、みな二万人から三万人以上のマンモス大学です。

それらと比べると、ここは、こぢんまりまとまってる学校です。「私の授業を、学生はみな受けてます」と濱名学長さんと言っていました。学長自ら教えてるんですなあ。

養成した防災士が一〇〇〇名になった というから、たいしたもんです

この学校の特徴としては、防災士の養成に力を入れていることです。時々テレビなんかでも、取り上げられてますが、防災

士言うのは「自助、共助、協働」を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを日本防災士機構が認証した人(日本防災士機構HPより)だそうです。

防災士の資格を取った人は、平常時は、自分の家ばかりでなく地域・職場での防災啓発、訓練を実施。災害時には避難誘導、初期消火、救出救助活動等に当たり、また被災地の支援活動も行ないます。

関西国際大学では、阪神・淡路大震災の教訓をもとに二〇一七年から、全学の学生を対象に授業の中で防災士養成講座を開設しています。

そして、二〇二一年度春学期には養成した防災士が一〇〇〇名になったというから、たいしたもんです。

昨今、地震や大雨、それに伴う土砂崩れなどいろんな災害が増えています。

そんなとき、若い防災士がいてくれたら、僕みたいな高齢者は、安心して任せられます。

この大学ええですなあ。また二つ応援したい学校が増えました。



●関西国際大学での防災養成士講座 (提供 関西国際大学セーフティマネジメント教育研究センター)